

全国万引犯罪防止機構 理事長 竹花 豊

怒りを力に
変える魔術

明けましておめでと
うございます。激動の
時代ですが、安心・安
全な社会が守られるよ
う、今年も力を尽くし
たいと思っております
ので、よろしくお願
いいたします。



さて、昨年11月22
日、万引防止対策に新
たな一ページが刻まれ
ました。全国万引犯罪
防止機構が被害事業者
と連携して、警察を動
かし、悪質で常習的な
万引犯を摘発すること
に成功したのです。

この万引犯は、高額
図書ばかりを狙い、盗
品をインターネットオ
ークションで販売して
いたのですが、被害は
多くの店舗に及び、そ
の総額は1200万円
を超えるということ
です。彼は過去に検挙
起訴されたこともあ

て、用心深く、現場を
押さえることができな
かったのです。警察
は、ネット運営者の協
力を得ながら、工夫し
て検挙に結びつけたも
ので、被害事業者の喜
びは私の元にも届いて
きました。この犯人の
検挙以降、高額図書の
万引は減少の感がする
とのことで、喜ばしい
ことです。

この件について、こ
の事件に頭を悩ませて
いた方たちは、私たち
に相談を持ちかけ、被
害の状況、被疑者に関
する情報等をお寄せに
なりました。私は大阪
府警(そこの被害が
最も多かった。)の旧
知の幹部に、昨年の8
月末に被害事業者とも
ども直接お話しし、捜
査を要請したところ、
警察は直ちに捜査を開
始してくれたのです。
私たちを突き動かした
たには訳がありまし
た。被害者がこれだけ
苦勞しているのに放っ
てはおけないという気
持ちはに加え、一昨年秋
にアメリカの小売業者
や警察の皆さんと2日
間にわたり、万引対策
について徹底した情報
交換をしたことです。

この会議は、万引被害
者と警察との関係につ
いて示唆を与えてくれ
ました。アメリカでは
万引ぎによる被害は年
間5兆円を超えると言
われていますが、被
害者サイドはそのすべ
てを警察に捜査しても
らうことは期待できな
いと考えたのですが、
そこであきらめずに、
より重要な万引き犯
罪、例えば組織的万引
犯罪に絞って、警察に
捜査してもらおうこと
としたのです。そのよ
うな重要万引被害につ
いては、小売業者個々
の企業壁を越えて協力
しあうようになり、お
互いの被害や犯人の情
報を持ち寄り、事案の
概要がある程度明らか
になったところでこれ
を警察に持ち込み、捜
査を促しているのだ
です。このようにして
発されるケースは毎年
数十件に及ぶと聞いて
います。

ばしば聞きます。言
分には理由があるので
ですが、そこでどまっ
ていては状況は変わら
ないのではないか、被
害者サイドでも新たな
努力をすることは考え
られないかと感じまし
た。

当機構だけがそんな
ことを考えていても仕
方がありません。多く
の小売業者の方々に考
えてもらいたい、その
会議で私たちの感じた
ことを直接アメリカの
方々から聞いていただ
ければと考えたので
す。

そして、この3月9
日と10日、日経新聞の
主催するセキュリティ
ショーの場を借りて、
「万引対策強化国際会
議2017」を開催す
ることにしたのです。
その詳細は当機構のホ
ームページをご覧ください。
そして、多くの
方々の参加をお待ちし
ております。

私たちの思いは、こ
の会議は、単なる講演
会ではないということ
です。アメリカからの
情報、わが国の状況等
について参加者が共有
し、それをもとに参加
者全員で今後の万引き
対策の在り方を議論
し、方向性を明らかに
し、全員で意思を固
め、同じベクトルの下
に力を結集することを
誓い合いたいです。
私は、これまでの警
察行政や都府政に携わ
る中で、貴重な成功体
験をしてきました。暴
走族問題、新宿歌舞伎
町浄化、不法滞在者問
題、増加の一途をたど
っていた犯罪の抑止
等、多くの方々が解決
をあきらめかけていた
問題を取り上げ、大き
な変化を導き出すこと
に成功してきました。
皆様にはこの会議
を通じて、私たちの思い
が多数で誰かががんば
ればなんとかなるとい
うものではなく、関係
魔術に参画されませ